

今月の言葉

筑波科学博覧会が開幕されている。これ以上は直接来場者にしか見せてあげない、というような興行的配慮があるのかどうか知らないけれど、開幕前よりかなりのレポートで、テレビや新聞を通して紹介されているので、物見高さの薄れてきた私共にとっては、人混みに揉まれることもなく、正確な解説付きで見ることが出来るので、大いに助かる。もちろん、ボットが紹介される中で、「足歩行のロボットを作ること」が、なんにも難しいということ、今まで踏み込んで、何が変わらがら慣れたら我が足に、い

北と南で支部総会

等を励ます会九州支部総会



励ましの輪さらに拡大

はげまし

発行所

社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都中央区八重洲2-4-14
〒104 ミツヤビル3階
発行人 鈴木 實
TEL 03(372)2050
購読料 年間1200円(送料込)
(但し会費の中には購読料を含む)

当励ます会の組織は、社団法人として東京本部、また全国に八つの支部を数えている。会員数は四十九年発足時の三百八十名から今は一万二千名を超えて、五名から今は一万二千名を超え、志を同じくする盟友がこれからも増え、いくことが期待されている。

こうした励ます会の発展は、機動隊が治安警備の要となつていることが認識され、励まし甲斐のある存在となつてることもさることながら、そこは世話を一同を始めたとする会員の熱意

が、この会を大きく盛り上げていることはいうまでもない。

東京本部と各地区支部では、年一回の総会と合わせて機動隊員等を招いての懇親会を開催するが、去る三月には最南端支部の九州と最北部の北海道支部総会及び懇親会が開かれ、隊員の士気を大いに高めた。

九州支部総会

昭和五十年三月に発足した九州支部の五十九年度支部総会が三月六日十五時から福岡市住友生命ビルで、会員および隊員等約三百人の出席者で催された。

春一番の暖かさだが、会場は若い隊員の熱気でまさに春らんまん。飯田正雄・支部世話人の開会の辞で式次第が滞りなく進められた。

自見真清・九州支部世話人代表が力強く励ます言葉を述べたのに続いて、長岡茂・九州管区警察局長と木村武・福岡県警察本部長が米賓として、励ます会が国民と警察を結ぶかけ橋になつてることについて謝意を表すと共に、引続き万全の警備に注力する」と語った。

鈴木實・理事長の音頭で懇親会に移り、隊員達による余興を加えて心が交流、嘉悦康人・理事の発声による歳三唱でしめくくられた。

が、この会を受け止めなければならない

北海道支部総会

北海道支部の五十九年度支部総会は、三月十二日十七時三十

分から札幌市バークホテルで開

大内さんありがとう

当励ます会の生みの親

であり、育ての親である

大内俊司理事長が、十二

年目にわたる活動の一応の

節目として名誉理事長に

就任され、代つてこれまで

副理事長として大内氏

に推举(一月一日付)さ

れた。

会員一同としては、

内

名譽

理事

長

に引続き今

後のご指導をお願いする

とした。

鈴木實氏が新理事長

に

と

共に、これまでの励ま

す会における同氏の歩み

を振り返つて心からのお

詫を申しあげたい。

会員一同としては、

内

名譽

理事

長

に

と

共に、これまでの励ま

す会における同氏の歩み

を振り返つて心からのお

詫を申しあげたい。

内

名譽

理事

長

に

と

共に、これまでの励ま

す会における同氏の歩み

を振り返つて心からのお

詫を申しあげたい。

内

名譽

理事

長

に

と

共に、これまでの励ま

す会における同氏の歩み

を振り返つて心からのお

詫を申しあげたい。

内

名譽

理事

長

に

と

共に、これまでの励ま

す会における同氏の歩み

を振り返つて心からのお

詫を申しあげたい。

内

名譽

理事

長

に

と

共に、これまでの励ま

す会における同氏の歩み

を振り返つて心からのお

詫を申しあげたい。

内

名譽

理事

長

に

と

共に、これまでの励ま

す会における同氏の歩み

を振り返つて心からのお

詫を申しあげたい。

内

名譽

理事

長

に

と

共に、これまでの励ま

す会における同氏の歩み

を振り返つて心からのお

詫を申しあげたい。

内

名譽

理事

長

に

と

共に、これまでの励ま

す会における同氏の歩み

を振り返つて心からのお

詫を申しあげたい。

内

名譽

理事

長

に

と

共に、これまでの励ま

す会における同氏の歩み

を振り返つて心からのお

詫を申しあげたい。

内

名譽

理事

長

に

と

共に、これまでの励ま

す会における同氏の歩み

を振り返つて心からのお

詫を申しあげたい。

内

名譽

理事

長

に

と

共に、これまでの励ま

す会における同氏の歩み

を振り返つて心からのお

詫を申しあげたい。

内

名譽

理事

長

に

と

共に、これまでの励ま

す会における同氏の歩み

を振り返つて心からのお

詫を申しあげたい。

内

名譽

理事

長

に

と

共に、これまでの励ま

す会における同氏の歩み

を振り返つて心からのお

詫を申しあげたい。

内

名譽

理事

長

に

と

共に、これまでの励ま

す会における同氏の歩み

を振り返つて心からのお

詫を申しあげたい。

内

名譽

理事

長

に

と

共に、これまでの励ま

す会における同氏の歩み

を振り返つて心からのお

詫を申しあげたい。

内

名譽

理事

長

に

と

共に、これまでの励ま

す会における同氏の歩み

を振り返つて心からのお

詫を申しあげたい。

内

名譽

理事

長

に

と

共に、これまでの励ま

す会における同氏の歩み

を振り返つて心からのお

詫を申しあげたい。

内

名譽

理事

長

に

と

共に、これまでの励ま

す会における同氏の歩み

を振り返つて心からのお

詫を申しあげたい。

内

名譽

理事

長

に

と

共に、これまでの励ま

す会における同氏の歩み

を振り返つて心からのお

詫を申しあげたい。

内

名譽

理事

長

に

と

共に、これまでの励ま

す会における同氏の歩み

を振り返つて心からのお

詫を申しあげたい。

内

名譽

理事

長

に

と

共に、これまでの励ま

す会における同氏の歩み

を振り返つて心からのお

詫を申しあげたい。

内

わが女房殿 警視庁機動隊



つけ加えている。

一般に夫は社会に出て働き、妻は家庭を守るものという分業の仕組みが出来上がっている。とくに激務に明け暮れる機動隊員にとって家庭はやすらぎの場である。内助の功を感謝する隊員のほほえましい家庭生活をのぞかせて貰った。

妻を語る

「汝が良妻をもてば幸福者にならん」とソクラテスは言った。
“ソクラテスの妻”は悪妻の代名詞のように使われているが、そのソクラテスですらこの妻を百年の不作とは嘆いていなかった。「ともかく結婚せよ……そしてそれは、誰にとってもいいことなのだ」と

七章を 上

妻を語る

（一）結婚十年

一機 吉尾正照

私の出身は高知県（土佐）、妻のそれは鹿児島県（薩摩）です。最近、周囲の人から結婚して何年ですか？うまくやつていく秘訣は？などと尋ねられることがあります。私には人に話せるような人生論や夫婦論めいたものは何もありません。なんとなく結婚一年が過ぎ去ったしまま、年だけとってしまったという感じです。

冒頭に「高知県出身」と述べたのは、私達は郷土出身の坂本龍馬の生き方に共鳴を覚えたからです。

夫婦生活における妻の立場な

安政天子著『男を成功させた妻女たち』の中に記述されています。坂本龍馬の妻、お龍の八柄で大酒飲みでおしゃべりで、おきやんで、女らしくつましやかなどところはまったくなく、また遊里暮らしが長かったので炊事や針仕事など女一通りの業務も知らなければ、札儀作法もわきまえない女性（妻）であったといふことです。

しかし、お龍は妹が撲殺され遊廓へ売られたのを助け出したたり、京都の寺田屋で坂本龍馬が追手に捕われそうになつたとき入浴中にもかかわらず裸で夫に急を告げ命を助けるなど危急存亡に際しては、非常に機転が働いた女性であります。

私の妻は六十六歳。二つ年上
の姉さん。女房である。姉さん女
房だけあって、気が強く、さつ
ぱりとした性格でよく気がつき
抜け目のない妻である。そんなな
妻ではあるが、私が当番で家に
いないときは、やはり一人でい
るのは寂しく恐いという。
一昨年のS.N.A.C.警備の時は、
ほとんど泊り込みで、一週間は
どなて帰らなかつたことがある。
臨月間近のある日、体調が悪く、
病院へ行つたところ、妊娠中毒
症といふことですか入院。私はそ
忙がしい時でなければ、すぐ飛
んで行つてやられたかった。その
時は、やはり「一人で寂しかっ
た」と、後で言つていた。

私の家庭は、妻と男の子（十ヶ月）と母親の四人暮らしです。妻は五年前、六回目の見合いでやっと得た伴侶です。

妻の性格はといふと、高校生の時、母親を亡くしたせいか、非常にさみしがり屋ですが、反面気持は明るく、いつも笑顔を残します。母親と一緒に生活していると、毎日毎日が家庭内に明るくなった気持ちになります。しかし、五年も一緒に生活していると、毎日毎日があたり前の事となってしまい、特にこれといった事が思い浮かびません。そこで、見合いの時から現在に至るまでを振り返って

「うるさいな」等といふ言葉が人間になるから不思議なものであります。とは言つて最も最近は平気で出でてきます。物もすかがはず反撃にしますが、最初の気持を忘れずやさしく接すれば、このようなトラブルは避けられると反省する日も増えてきたよう思います。

昨年は、待ちに待った男の子が誕生しました。そのせいもあり、妻も大分遅くなつてきました。年終の現在、惰性にならぬいたためにも、現在時を振り返り、やさしく思ひやられません。釣つた魚にも解ればなりません。釣つた魚にも解をやらなければいけない。言ひ方はよくないかもしませんが、そうを感じることの頃です。

ました。そんな折、英会話ティー^{ーブ}の訪問販賣が来たセールスマンが、応対に出た色が黒い、「方言まじりで話す妻に向って、「奥様まで日本に来て何年になるんですか大変日本語が上手ですね」と言つて立ち去つた話を妻から聞いて、二人で腹をかかえて大笑いました。

結婚当初は無口で、私の言うことは何でも「ハイ、ハイ」とは部屋の隅で涙を流していた母親になると、女性格がこんなに変わるものかとあきれかえるばかりです。私の呼び方も、「成吉さん」から「貴男」、そして今は「ちょっとお父さん」と

夫に付き合った等、妻にとって有意義な時間だったかもしれない。夫の職場を知り、また家族ぐるみの生活であり、生涯の友人を得ることができたと思う。

食事の準備をして待ついてくれました。家庭の時間も不規則になりました。娘たちがあの頃、家族全員の健康管理によく気を配り、家族気持を引き締めてやつてくれていたようです。本当に大変だったようになります。なかなか言葉では言い尽くせませんが感謝しています。

長男が、生後八ヶ月で「ははか」にかかった時には、病院を次々にかけ回り、「一日かかってやつ」と思われるほど毎日に入院でてきたのはもう今日の夕方でした。担当医に「脱水症状が出てかなり悪化しています。今夜が峠です」と言われた時に、妻の顔から血の気が引いていくのがわかりました。その日

在の十年まで持ち続けたからこそ、今の自分があり生活があるからこそと信じます。この十年間、陰と陽となりひなたとなり、私を支えてくれた我が家が愛妻に、ただ感謝の気持ちでいっぱいです。

裏は毎日、朝四時三十分に起きて朝食の準備をし、五時三十分から六時の間には、私を職場へ送り出してくれた。

今では、体もすっかり良くなり、元気はつらの毎日である。

「本当の生活はこれからである。辛いことや悲しいことが、どんどん出てくる。その中で、喜びを見つけ、すばらしい家庭を築きたい」と妻は言っていた。

私は、いつまでも元気はつらつきを失わない妻でいてほしいと思つてゐる。(探車係)

妻は毎日、朝四時三十分に起きて朝食の準備をし、五時三十分から六時の間には、私を職場へ送り出してくれた。

今では、体もすっかり良くなり、元気はつらの毎日である。

「本当の生活はこれからである。辛いことや悲しいことが、どんどん出てくる。その中で、喜びを見つけ、すばらしい家庭を築きたい」と妻は言っていた。

私は、いつまでも元気はつらつきを失わない妻でいてほしいと思つてゐる。

「あー、これは失敗だ」と感じました。三ヶ月後には、ハイへ新婚旅行で旅立つ事になりました。

一番心配した嫁と姑の対立抗争もなく、安心して仕事ができる毎日です。機動隊には、つきもの早朝出勤の時も、必ず食事を作り送り出してくれます。

習いのものもやっていない、料理も上手とは言えないのでしませんが、せんじんかいい思いやりを感じます。

赤の他人であつた人間が、何年か暮らしていると、一番大切

て、なんとなくるところまで
きたという感じで、プロボーラー
らしき言葉も無かつたようと思
います。

そして、五年間という長い文
際期間に終止符を打ち、昭和五
十六年春に結婚へとゴーリンイ
しましたが、その間にいろいろな
ことがあります。

一人でいる時には、いつもの方
言（鹿児島県大島郡）でしか話
さないせいか、お互いつままで
たつてもあまりがねずつ困つて
します。又、幼なじみが結構い
して、口で話わなくとも何でか
通していると思ひこみ、一日中
話しをすることもなく、気はまず
い思いをしたこと何度も何度かあり

結婚九年(一)

（結婚七年） 強いものか
六機 美里和男
ちょっと背が低くて、しっかり者で、少々料理がうまくて、健康的なのが私も好みた妻の感
じです。私も彼女も二十歳。五歳を頭に一男一女があり、結婚して七年になります。時には
わが女房殿のことでもゆきり考
えてみようと思つて、振り返つて
みました。

りあり方といふものについて、あえて述べさせてもらえるならば、この本でも述べられてゐるよう、「人はどう言おう」と、現在の妻を得たことが、その人の活動の源になつたことはない。いわゆる結婚生活が理想で、幸福なのではないかと考えています。

私の妻の容貌(決して美人などではない)性質、長所・短所をそのままにして、現在までの生き方などを変えないものとし、と問われたら、私は必ず持つと言える。こういう気持を持つこと(又は持ち合うこと)が夫婦の活動の源になつたことはない。いわゆる結婚生活が理想で、幸福なのではないかと考へています。

私の妻の容貌(決して美人などではない)性質、長所・短所をそのままにして、現在までの生き方などを変えないものとし、と問われたら、私は必ず持つと言える。こういう気持を持つこと(又は持ち合うこと)が夫婦の活動の源になつたことはない。いわゆる結婚生活が理想で、幸福なのではないかと考へています。

しかし、氣の強い妻のことで少々のことではへこたれず、四日程して退院してきた。それから約三週間後、長女が誕生した。私は警備が終ると飛んで帰り、「母子ともに健康」二千八百六十一グラムを自己判断で発表した。赤ん坊は多少小さめ、しかし、小さく生んで大きく育てることが理想である。

年々変わり、親父の私の立場が
ないくらいに気丈夫で良くしゃべり、二人の子供を相手に毎日
販賣やかに過しています。
良妻賢母にはほど遠い妻ですが、毎日一生懸命一人の子供と家庭を守っている姿には、ほんとうに頭のさがる思いです。いつまでも健康に充分注意して、育児と明るい家庭づくりに頑張ってほしいと願うものです。私も父親として、又良き夫として、明るく楽しい家庭を築いていくよう精一杯頑張って行きたいと思ひます。(特務係巡回部長)

あなたもしたら
冬 厳しい寒さが、日々の起きて足で押しやり、足を定めて、
日々さまよし時計が、ジリジリ、
おしゃべり足で押しやり、おしゃべり足で押しやり、
「早くストーブをつけて、部屋を暖めろ!」
「タイマー付のストーブがほしいわね」上を見れば限りがない。
いい、下を見てても限りがない。
私も、今まで妻に苦労をかけたが、よき夫になるが、心掛けるつもりである。たかが女房、されど女房。末永く幸あれ。
(分隊長)

讀者の廣場



物質文明への対応

いよいよ筑波の科学万博が開かれたが、入場者も多いことだらうから、機動隊の警備要請がますます増えて、隊員の方々はさぞ大変なことだろうと、今から御苦労を犒むにはいられない。

さて、この万博のテーマの科學だが、この発達は目まぐるしいほどの速度で進んでいる。たゞその最も顕著な実例の一つが「原子兵器」である。これはまさに人類を益するものではなく、まったくその反対に大きく害するものである。私はけつして好戦主義者ではないが、われわれが戦争を放棄しても、戦争がわれわれを放棄してくれるといふ保証はまったくないし、また「原子弹」のとどまるところを知らぬ過激競争は、その私といふ点否定されてしまう。かといつて、産業国の中では善く、自由主義諸國のものは悪であるなど、日本教組はじめ一部の



非日本人共の否定と私の否定どちらからも機動隊の警備要請がますます増えて、隊員の方々はさぞ大変なことだろうと、今から御苦労を犒むにはいられない。

さて、この万博のテーマの科

学だが、この発達は目まぐるし

いほどの速度で進んでいる。た

ゞその最も顕著な実例の一つが

「原子兵器」である。これはま

さに人類を益するものではなく、

まったくその反対に大きく害す

るものである。

私はけつして好戦主義者では

ないが、われわれが戦争を放棄

しても、戦争がわれわれを放棄

しない。

しかし、「原子弹」のとどま

るところを知らぬ過激競争は、

その私といふ点否定されてしまう。

かといつて、産業国の中では善く、自由

主義諸國のものは悪であるなど、

日本教組はじめ一部の

北支部総会および三月号名古屋

支部総会の記事で、「金木賞、

励ます会副理事長」とあります。

たが、これは「金木賞、励ます会

理事長」の誤りで訂正致します。

第三種郵便物認可

第三種

視厅機動隊



伝令のひとりごと

中隊旗とともに
一機 平山文也

「規制線を守れ!」先頭も
「引張れ!」中隊旗をもつ手
が伸び、声もいっしきか大きく
叫んでいく。隊員一人ひとりの
額に汗がにじみ、規制線を守る
うと中隊旗をみつめる姿が手に
とるよう見える。我々は今、
革マルデモ警備の最中である。
思えど胸に輝く桜花に憧れ、
機門をぐぐり四年半が過ぎ
ようとしている。そして四年半
前のが今、こうして中隊旗を
みつめこの旗の動きまさに動
いていた自分が今、こうして立
場を変えて、ひつとの部隊の先頭
を歩いている。もう何年前になるだろ
うか、

連合赤軍によって起された浅間
山荘事件で、山荘の中に突入し
た部隊の伝令が窓から旗を振っ
て脳髄に焼け付いている。その部
隊のシンボルというべき旗を今
こうして持っている。

伝令とは、読んで字のごとく、
命を伝えるのが任務である。
しかし、單に上司からの命令を
傳えるだけであれば、それはた
だのロボットすぎない。そのや
うな命令を直しく早く、分かり
やすく伝えなければならないので
ある。朝一時間半前に出勤する
としての任務は、猫の手も借り
たい程多く、神経をすり減らす。
必要か、各隊員との連絡はなし
か等、中隊と各係とのパイプ役
としての任務は、猫の手も借り
たい程多く、神経をすり減らす。
妻へ、「伝令って何?」と聞か
れた時、何と説明してよいのか
からず、「旗をもって歩くんだ
から」、

男の修業
二機 岸浪 貢

昭和五十四年春、通称サミ
ト要員として、不安や希望を胸
に、あこがれの一機に入隊した
在隊六年になるが、現在、隊
長伝令といふ重責に就かせて
いた。隊長伝令を命ぜられた當初は、光栄に思ひながらも、一方では、未熟者の私に
つとまるだらうかという不安も
あり、毎日憂夢中であつた。
中隊員の時は、決算の時にし
か、目前に隊長、副隊長の顔を
見ることなかつたのに、毎日
身近に仕えて、隊長の日程、
隊行事等をよく把握し、本部、
中隊と隊長とのパイプが詰まらぬ
ように細心の神経を使は立場と
分な事前の準備を行ななければ
ならない。明日の行事予定を載
せた手帳を、幾度も見直して、

三機 菅 正彦 誇りの三機

自室では体を大の字でバタンキ
ーといった状態であった。界
隈に慣れた今は、ただひたす
ら隊長伝令として自己の任務を
全うするよう頑張っている。

一、男の修養
私の好きな言葉を紹介したい。

昔の日本軍は、何よりも軍旗を
大切にしていた。弾がとんでもこ
うとも軍旗を先頭に進軍して
いた。その軍旗が今の私にとって、
何の中隊旗である。一本

まもなく部隊は解散地へ送り
込みを開始する。この中隊旗を
中心に隊員があざやかに回転離
脱を行ふ。隊員の肩を叩き一人
ひとり撤収させる。

番組表する時である。部隊は離
脱を行ふ。「人員装備異常な」
と各小隊から報告が入ってくる。

中隊長のホットした顔を横目で
みながら、完全に規制でき、無
事に帰隊できる事を喜ぶ。先輩
が血と汗をふいた手で握り

しめたこの旗、伝統と信頼の為
に、そして一機の精銳部隊の伝
令として、これからもこの旗と一
ともに心中する覚悟である。

(中隊長伝令)

二、失敗を教訓
今まで何度か失敗をしたこ
とがある。例えば、自信のない
ことを、未熟な経験で格好つけ
て推測で行動したり、警備出動

の際、基本的な資材等を忘れる
等……失敗の都度、一度と失
敗しまと決意し、自分に強く

言いきかせた。これらの失敗一
つ一つを教訓として、これから
の務めで、万全を期すように頑
張っていく。

指揮官の命令ひとつで何百、
何千といふ部隊が活動をするわ
けであるから、伝令としての重
責感と信念をもつて、命令等を
正確に伝えなければならない。

大變な場合は、その部隊は全
滅となる。伝令の任務は重いの
である。

三、ミスター伝令の一言
隊長伝令は、他の隊員より優
れた知力・気力・体力が不可欠
の要件である。(あくまでも理
想)その隊のミスター伝令でな
ければならない。そこで、この
機会に各隊のミスター伝令の
一言を紹介したい。

四機 松本敦夫
(副隊長伝令)

伝令!! 中隊長を語る
四機四中隊長、S警部、四十
歳。我が四機で、数少ない戦
生まれの一人である。現在ま
で、何回も機動隊を経験して
きてるので、仕事を非常によ
く知っている。

私は、こんな人間臭い中隊長
が大好きだ。いつまでも、伝令
長としての立場を自覚し、中隊
の手足となつて働きたいと思
う。特に敵に中隊長である。アング
ルの置き方一つとしても位置
が悪いと、すぐ幹部を呼びつけ
たりつける。又、デモ警備で指揮
棒が飛ぶ。そのため隊員はみな
神経をビリビリさせながら仕事
に励む。中隊が引き締り、各種
警備を完遂して来ている。

五機 森園 誠
(中隊長伝令)

伝令の何たるかを知らず、それ
は、単なる懶れであった。

着隊一年後に少な中隊長伝令を経験し、命令の正確な聴取と伝達に気を使い、警備が終了すると、

どうと疲れがて一種の虚脱感に襲われたこともあった。

部隊を生かすも殺すも、伝令
でがんばる。

四機 赤嶺秀憲 一度と経験
して早い場で思ひ、四機の為
の何のへんつもない旗かもし
れないが、その旗には伝令とし
て、言葉に言い表わせないたく
さんの思いがこめられている。

まもなく部隊は解散地へ送り
込みを開始する。この中隊旗を
中心に隊員があざやかに回転離
脱を行ふ。隊員の肩を叩き一人
ひとり撤収させる。

番組表する時である。部隊は離
脱を行ふ。「人員装備異常な」
と各小隊から報告が入ってくる。

中隊長のホットした顔を横目で
みながら、完全に規制でき、無
事に帰隊できる事を喜ぶ。先輩
が血と汗をふいた手で握り

しめたこの旗、伝統と信頼の為
に、そして一機の精銳部隊の伝
令として、これからもこの旗と一
ともに心中する覚悟である。

(中隊長伝令)

五機 黒田道夫 男はだまつ

て五機魂
六機 増山敏美 叫られ続け
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
七機 伊尻 隆 今年こそ合

格するぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

格を守るぞ。
八機 今村孝明 やるぞ! 今

年は絶対いい年にするぞ。
九機 潤田智 旗の重みに負けぬよう常に前進、各隊長

新たな飛躍期として 励ましの輪さらに拡大



発行所
社団法人 機動隊員等を励ます会会員
東京都中央区八重洲2-4-14
丁104 ミツバビル3階
発行人 鈴木 實
TEL 03(272)2050
購読料 1年間1200円(送料共)(但し会員の中には購読料を含む)

機動隊員等を励ます会の第九回通常総会並びに懇親会が六月十二日十五時から東京半蔵門会館で盛大に開催された。

利淳三郎、松田武彦、小原信二

村山文雄理事事務所で挨拶して立

つた鈴木實理事長は、理事長就任後、初の総会を開催しなかったことを報告。治安維持における機動隊員をはじめとする警

察の努力に酬いるためには、励ます会をさらに充実して協力してく決意のほどを披露した。

これに続いて当励ます会の發展に功績のある近藤与助、由利淳三郎、井上金次郎、牛込幸一、佐々木喜朗の五氏に表彰状と記念品が鈴木理事長より贈呈された。

司名理事長は「身にあまる言葉を頂戴して恐縮している。昭和四十九年三月に僅か三百八十一名に増え、会員数は一万二千と八つの支部を擁している。

また監事は津田宗三郎、石井

小川郁雄、曾根良雄の十氏を新

理事に選出、再任理事三十六氏

を含めて理事は四十六名になっ

た。

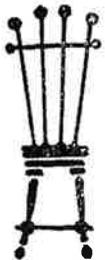
また監事は津田宗三郎、石井

小川郁雄、曾根良雄の十氏を新

理事に選出、再任理事三十六氏

読者の廣場

超えた平等 民主主義を



南保夫

年ごとにメーデーの赤旗が心なしか精氣を失いつつあるよう思える。新聞情報によれば三人のうち二人が「豊か」であると自覺している昨今では、メーデーの盛り上がりが今ひとつないものだらう。たしかにこのところ、労使間の経済認識、問題意識の距離が著しく近くなつてゐるし、場合によつては共通のベースでの話し合ひも可能になつてゐる。

あるジャーナリストの説によれば、いわゆる大衆社会制度が日本くらしつかりと確立していよいよつてよいだらう。最近なつてゐる国は世界に類見しないといふことだ。なぜぞ断定するかといふと、デモクラシーの大先輩である歐米各國のどこと比べても、わが國ほど均等に近づいたから高め分配うまく行つてゐる例はない、との記者はいう。

このことを裏付ける事実として日本の場所、金所得者の上位〇・一パーセントと下位一〇・一パーセントの所得額の(そぞらく税引額とは思つが)比は、わずか三対一のことである。これが実態とすれば、たしかに貧富の差がはげしい世界の大半の国々ではないか。常識ではないと思ひぬケタ達いの大差持が

想ひぬケタ達いの大差持が

なんと一〇〇ドル強だつたそ

うだ。当然専用レストラン専用コ

ク付である。しかも自己負担

がわざか二ドルで、あとは全額

会員負担だといふ。チチな話で

あるがこんなにまで会社にオ

ブにダッコしてもらひながら、

同氏の年俸はなんと、一〇〇万

ドル(日本円で約一億五千円)

である。ところが一〇〇万ドル

程度の年俸では、アメリカ全サ

ラーリー・マン重役のペストンに

はとても入れないそだつてある。

が年俸といへ、昼食の件といへ、

ことごとく実感がわかない。

ただだ言葉なく喰るばかりで

ある。

とはいひものの、ともにかく

君臨する王侯諸侯、あるいは、

エチオピアやピアフの難民た

ものあの悲惨な姿などを見聞す

るたびに、わが母國に住み、生

きるもの幸運を再認識せざるを得ないのである。

貧富の格差は、また階級意識

の土壤を培養するのは周知の事

実である。ここでも日本人の平

等意識は他国を断然凌駕してい

る所へといふだらう。最近なつて

いくことだ。なぜぞ断定する

かといふと、デモクラシーの大

先輩である歐米各國のどこと比

べても、わが國ほど均等に近づ

いたから高め分配うまく行つて

いる例はない、との記者は

いふ。

このことを裏付ける事実とし

て日本の場所、金所得者の上位

〇・一パーセントと下位一〇・一パーセントの所得額の(そぞらく税

引額とは思つが)比は、わずか三対一のことである。これ

が実態とすれば、たしかに貧富

の差がはげしい世界の大半の国

々ではないか。常識ではないと思ひ

ぬのである。

これが、おぞらく共産諸国でも、こんなにうまい

組合に富が分配され得る

のではないか。常識ではないと思ひ

ぬのである。

これが、おぞらく共

産諸国でも、こんなにうまい

組合に富が分配され得る

のではないか。常識ではないと思ひ

ぬのである。

男のつきあい

警視庁機動隊

男のつきあい方について、各隊の皆様に書いていただきたい。「男は敷居をまたげば七人の敵あり」と言われるが、上手なつき合いは人生を楽しくしてくれる。とくに機動隊は緊張の連続でストレスも蓄積しやすい。やすらぎの時間と場所をどこに求

めるか。先輩と友人との語り合いで喜びを倍にし悲しみを半ばとするもよし、酒を汲みかわすことによって気苦労を洗い流す。または読書や趣味で明日への活力を養うなど各自がそれぞれのつき合い方を見い出している。

無知を補う
一機 村田利造

私は生来、読書が嫌いな性格であると思う。何万、何千万の字の埋った一冊を読むには、その一字一句を確實に読み進めなければならないという、孤独で苦痛に満ちた時間の連続を強いられる。これは耐えがたい辛苦にもかかわらず、私は読書することを強制する強い力が働きかけてくる。この力の源は何んなのかも自問してみると、それがあまりに貧弱な知識しか持つならないことに気付く。

先人は洋書を読み為します
辞書を作成し、それを片手に読み進めたという。又、現代のように出版が盛んではなく、ある本をまず書き写して自分のものにして読書したという。読書というのは、本来このように困難を伴なってなされるものであったのではないかと思う。こうした困難を凌いでまでも、先人が読書したということは、旺盛な好奇心を湧き立てる貪欲な知識欲時代を先取りする先進性として時代をリードするといった使命感のようなもののが、強く働いていたからなのだろう。

こうした先人の読書に対する態度に接し、日々を安閑と過していったからなのだろう。



存を信じるものはなかつた。
母親は子供を見るや半狂と
なり、子供を抱きしめ、その顔
に頬ずりしながら泣きじゃくり
「僕、ごめんね。冷たかったね
……」とその場に座り込み、
いつまでもその場を動こうとは
しなかつた。この光景を見ていた人々の中に、目を真赤にしてハンカチで目をおさえていた姿があつた。今も私の目にあの時の情景が焼きついて離れない。
私は新隊員だったが、この時ほど我々の先輩を勇敢で頼もしく感じたことはなかつた。今、
警視庁水難救助隊分隊長として、先
この貴重な体験を生かして、先
輩達の築いた伝統を守り、さら

私は毎年夏には必ず帰省することにしてゐる。久しぶりに帰る私を迎えてくれるのは、家の祖と故郷で採ればばかりの材料で作つた磯料理である。わびやさしさの刺身、うに、とこぶしなどを肴に飲むビールの味は格別である。産地で採れたての物を、その場で料理して食べるのが最も贋沢な食べ方だ。したら帰省して食べる料理が一番うまいものをつけする。久しぶりの帰省には昼間は海に潜り、あわびやさしさ、うに採りにチャレンジするのがあるが、息が続かないのと、海に慣れていないので思うようにいかないが、苦労して採るからこそう

私のおふくろといふのは、世間一般のおふくろと「ライマー」シントは速く、午前中数少ない。弟子にお茶を教えていたかと思つて、午後にはリーチ一発とやつて、あきれるといふよりあれ程の気持ちの切掛けは私は出来ない。女からだらいいよをなすもので、男だったら何をなしたか分からぬ不気味な存在であった。そんな調子だから、女性に対するイメージは、しょやかでやさしさの中にも強さがあるような女性、時代劇の「大岡越前」である。

妻への言戻布告。この作文を読んで世界大戦が始まりそうになり俺は、放水車備車に乗って帰らなかな！

友 くれたしと思つてゐる
私的なつて
今述べたよ
先生であり
きいいをさ
場において
懇虚さを失
掛けている
そして有意
にも上司
強固にして

は折角訪問してお詫びであると
うのである。あいについては、
上司は人生の教訓を育ててくれる
認識をもつてつて頂いている。職
業同様である。常に心に
上司の補佐を中心に、人生を送るため
の結びつきをより
きた。

初
だから。(警備係巡查部長)
私と水泳とのつきあいは長い
子供の頃から故郷の川でよく泳
きまわったものである。警察官にな
ってから、水泳の特技を名前さ
れて、現在では「かっぱの機
械」(誰かが考案した)の効能

間が経過した。まだ発見されない。酸素ボンベの空気はなくなり、二本目のボンベが用意されたり。関係者のあせりも一段と色濃く、潜水隊員の疲労も増していった。引き続き二回目の検索が行なわれた。時間が経過するごとに、川の中央部、六郷橋から下流五十メートルの地点で捜索中の隊員の「一人から救助者発見！」の第一声がこえた。しかし、誰もが子供の生ええた。

採った物は、ある者はアルハイ
トライに漁協へ売り、ある者は
家に持ち帰り夕食の食卓を飾る
のである。また、海岸で焼いて
食べたりとも。採りたての新
鮮なさざえを丸ごと食べるの
はなかなかのものである。
恵まれた自然と海の幸、こう
いった環境の中で過したせいか、
海産物は私の食べ物の中で最も
親しみやすいものとなつたの
である。

女は強し
四機 星野昌義

「俺だって疲れてるんだ」
やりかえそうのなら「私が
ない時は自分でやって下さい」
となる。こうなったらおさま
がつかず冷戦が続くな
結婚前は、俺より気がつく
てきぱきとやりそうだから、
手となり足となってくれる
思ったがどうも違うらしい。
なんだんその未知の部分が見え
きたようだ。

こうじつた係といふよ
つきあいと、
てゐる。
この文を
望んでいた
いうものは、
なかつたか
た。実際に私
のである。

では、上司との関係も男対男としてのものを感じながら、自分の上司とのつきあいとこのような姿ではふと思つたりもしないよつては、快いもつとも、楽しい界いため、私は不公平

乗り緊急出動した。
現場到着。すでに二十分が過ぎていた。子供の姿はどこにも見えず、先鋒隊員の顔がこわばり「もう駆除の方かもしれないなあ」とつぶやく。もはや生死に係るところだ。我々の任務は、一分一秒でも早く冷たい水中から子供を救い上げ、家族に引き渡してやることしかなかつた。
河川敷には、子供の母親か泣きながら荒々しく川に向かって子供の名前を呼びつけた。その周辺には野次馬等が数百人も集まり、無言で我々の行動を見守っていた。
現場の所轄署の責任者と連絡をしていた小隊長が、早速、潜水隊員七名組による捜索を開始した。しかし、川幅三百メートル、水流每分二十メートル、水深五~七メートル、水底はヘドロ、視界一メートルで最悪の条件下にあり、手さぐりだけが頼りの捜索であつた。

故郷の機料理
三機 宇山清志

私の出身は安房の国、現在の千葉県南部白浜町といひなびた町である。日本地図で確認すると房総半島の南端に米つぶよると小さく載っている。「年を通りし温暖な候気で、春には金糞花やスツック、菜の花が咲きまた夏には磯釣りや海水浴の観光客で賑わう観光」と半農半漁の町である。

私と食べ物について語るとき、豊かな自然に育まれた故郷のことをおいて、ほかに語ることはできない。私の少年時代は、夏といふと海であった。海で友人達と一日を過ごすのである。それも海水浴ではなくあわびやささ

まないので、なんうか。いずれにしても、故郷の自然と海の幸、私にとってかけがえのないものである。

上京して八年が過ぎたが、そ間の食生活の変化はめざましいものがある。ちなみに色んな食べ物が氾濫し、特にインスタント食品の台頭に、現代の時間に拘束された食生活が印象づけられる。

人間の本能である「食」ということをもつて大切にして、見直していくべき。これからも夏は帰省して、故郷の自然と海に大いに接し、自然の味覚を大切にし、食べ物と上手につきあっていきたいものである。(警備係)

「(ただいま) 「……」買ひ物に行つてゐるらしい。自分で辛うじて脱ぎっぱなしにして、よく思はれながらだが、我が家に於ては現実そのものであつて、仕事から帰つて五ヶ月の身である。

新婚五ヶ月とさうり、まだたがいのムードにつつまれていよいよ思はれながらだが、我が家に於ては現実そのものであつて、私は現在新婚五ヶ月の身である。

しかし、何事においても理想は理想であり、現実は敵しきれないものである。理想は常に現実とならず追し続けるものであり、もし、理想が現実となれば氣の弱い私のことである。それを辞して夜勤のない仕事につくのはないだろうか?まあこゝは冗談でも、私は現在新婚五ヶ月の身である。

「(ただいま) 「……」買ひ物に行つてゐるらしい。自分で辛うじて脱ぎっぱなしにして、よく思はれながらだが、我が家に於ては現実そのものであつて、仕事から帰つて五ヶ月の身である。

であつたし現在でもそうである。先輩や同僚とのつきあひは、気の合つた者同士のつきあひは、あり、自らが選ぶことができる点で、それほど氣を使わうこともない。しかし、上司とのつきあいとなると、自らが上司を選ぶことができない点で、また上手の関係で、そのつきあいの方といふものはないさか遠ざかっていく。それは違つて当然である。

現在、私が専門である職場のT上司とのつきあいについて、その一端を紹介してみる。

T上司は平均して月に一度は私の住む寮にやってくる。「おいか兒、選ぶほどの顔じゃなんだから早く一年賃を納めて結婚しなろ」といひながら、焼酎を片手に部屋にやってくる。口は悪いが、気持ちは言葉と反対なのが、その響きからうかがい知ることができる。私もT上司に対しては、酔口がボンボン口と出る。飲むほどに酔うほどに

故郷の磯料理



はまげ

読者の広場

目的と行動



藤田文雄

「目的を持たない人は、やがては零落する」といったのは、ギリスの歴史学者トマス・カーライル（一八八一～一九七五年）である。目的があるからこそ人は生甲斐を感じることができ。目的がなく、ただ漠然とを過ごすのは、本当の生き方ではないというのが、カーライルの説く人生観のだろう。

直ちに行動に移すことが肝要で、そのことはいつまでもない。最近の新聞や雑誌を通して見る若者は、一般には「シラケ時代」、というのだろうが、目標をえて行動する姿勢を欠いているようだ。柳田圭介教授（教育心理学）らグループの調査によると、最近の高校生は、地道な努力や計画性はなく、気の乗った時に一気に勉強するが、難間にぶつかると人に聞くなど答え早く求めようと/or>する傾向にあるらしい。

高校一年生を対象としたこのアンケート調査では、回答をつなぎ合わせると、①気分に合わない、②計画にこだわらず、③マイペースで、④すぐ人に聞き、⑤気分転換の動作を入れるタイプが、全体の四割以上にもなつた。この結果について、同グループは、「与えられたものの中暗気の倒れの受験勉強方法を反映したのではないか」と結論づけている。

昨年暮に、新日本製鐵釜石の第三種郵便物認可



近頃の技術革新のテンポは、すさまじく早く、私の様な専門家にはどうい把握できるものではありませんが、第二次石器時代ではありませんが、第二次石器時代ではあります。

元ラグビー部監督だった森重蔵氏の「ラグビーと組織プレー」をテーマとする講演を聞く機会を得たが、ここで森氏は、高校生の無気力批判されていた。

現役を退き、時々は頼まれて高校ラグビーの指導をするようになった森氏の高校生觀は、「考えながらプレーしない、指示通りにしか動かない。管理されること慣れ、迫力がない」と、それは手厳しいものであった。

石器とともに、それが、人工石器としているわけです。

第一次石器時代の石器が、天

然の石を素材にしていたのに對して、現代の人工石器が粉を固めて焼くので「さひない」「燃えない」「硬い」「形を自由に作れる」という四つの特質を持っています。従って、石器時代のファンショーンに身をつづくことよりも工夫がない。街を見る高

校生は、それは全部ではないに

しても、マスクが作つたら行

う後になくて、金屬でない無機質固

体材料」、平たく言うと、人工

石器といふわけです。

第二次石器時代の石器が、天

然の石を素材にしていたのに對

して、現代の人工石器が粉を固

めて焼くので「さひない」「燃

えない」「硬い」「形を自由に

作れる」という四つの特質を持

っています。従って、石器時代

の後になくて、金屬でない無機質固

体材料」、平たく言うと、人工

石器といふわけです。

第二次石器時代の石器が、天

然の石を素材にしていたのに對

して、現代の人工石器が粉を固

めて焼くので「さひない」「燃

えない」「硬い」「形を自由に

作れる」という四つの特質を持

っています。従って、石器時代

の後になくて、金屬でない無機質固

体材料」、平たく言うと、人工

石器といふわけです。

第二次石器時代の石器が、天

然の石を素材にしていたのに對

して、現代の人工石器が粉を固

めて焼くので「さひない」「燃

えない」「硬い」「形を自由に

作れる」という四つの特質を持

っています。従って、石器時代

の後になくて、金屬でない無機質固

体材料」、平たく言うと、人工

石器といふわけです。

第二次石器時代の石器が、天

然の石を素材にしていたのに對

して、現代の人工石器が粉を固

めて焼くので「さひない」「燃

えない」「硬い」「形を自由に

作れる」という四つの特質を持

っています。従って、石器時代

の後になくて、金屬でない無機質固

体材料」、平たく言うと、人工

石器といふわけです。

第二次石器時代の石器が、天

然の石を素材にしていたのに對

して、現代の人工石器が粉を固

めて焼くので「さひない」「燃

えない」「硬い」「形を自由に

作れる」という四つの特質を持

っています。従って、石器時代

の後になくて、金屬でない無機質固

体材料」、平たく言うと、人工

石器といふわけです。

第二次石器時代の石器が、天

然の石を素材にしていたのに對

して、現代の人工石器が粉を固

めて焼くので「さひない」「燃

えない」「硬い」「形を自由に

作れる」という四つの特質を持

っています。従って、石器時代

の後になくて、金屬でない無機質固

体材料」、平たく言うと、人工

石器といふわけです。

第二次石器時代の石器が、天

然の石を素材にしていたのに對

して、現代の人工石器が粉を固

めて焼くので「さひない」「燃

えない」「硬い」「形を自由に

作れる」という四つの特質を持

っています。従って、石器時代

の後になくて、金屬でない無機質固

体材料」、平たく言うと、人工

石器といふわけです。

第二次石器時代の石器が、天

然の石を素材にしていたのに對

して、現代の人工石器が粉を固

めて焼くので「さひない」「燃

えない」「硬い」「形を自由に

作れる」という四つの特質を持

っています。従って、石器時代

の後になくて、金屬でない無機質固

体材料」、平たく言うと、人工

石器といふわけです。

第二次石器時代の石器が、天

然の石を素材にしていたのに對

して、現代の人工石器が粉を固

めて焼くので「さひない」「燃

えない」「硬い」「形を自由に

作れる」という四つの特質を持

っています。従って、石器時代

の後になくて、金屬でない無機質固

体材料」、平たく言うと、人工

石器といふわけです。

第二次石器時代の石器が、天

然の石を素材にしていたのに對

して、現代の人工石器が粉を固

めて焼くので「さひない」「燃

えない」「硬い」「形を自由に

作れる」という四つの特質を持

っています。従って、石器時代

の後になくて、金屬でない無機質固

体材料」、平たく言うと、人工

石器といふわけです。

第二次石器時代の石器が、天

然の石を素材にしていたのに對

して、現代の人工石器が粉を固

めて焼くので「さひない」「燃

えない」「硬い」「形を自由に

作れる」という四つの特質を持

っています。従って、石器時代

の後になくて、金屬でない無機質固

体材料」、平たく言うと、人工

石器といふわけです。

第二次石器時代の石器が、天

然の石を素材にしていたのに對

して、現代の人工石器が粉を固

めて焼くので「さひない」「燃

えない」「硬い」「形を自由に

作れる」という四つの特質を持

っています。従って、石器時代

の後になくて、金屬でない無機質固

体材料」、平たく言うと、人工

石器といふわけです。

第二次石器時代の石器が、天

然の石を素材にしていたのに對

して、現代の人工石器が粉を固

めて焼くので「さひない」「燃

えない」「硬い」「形を自由に

作れる」という四つの特質を持

っています。従って、石器時代

の後になくて、金屬でない無機質固

体材料」、平たく言うと、人工

石器といふわけです。

第二次石器時代の石器が、天

然の石を素材にしていたのに對

して、現代の人工石器が粉を固

めて焼くので「さひない」「燃

えない」「硬い」「形を自由に

作れる」という四つの特質を持

っています。従って、石器時代

の後になくて、金屬でない無機質固

体材料」、平たく言うと、人工

石器といふわけです。

第二次石器時代の石器が、天

然の石を素材にしていたのに對

して、現代の人工石器が粉を固

めて焼くので「さひない」「燃

えない」「硬い」「形を自由に

作れる」という四つの特質を持

っています。従って、石器時代

の後になくて、金屬でない無機質固

体材料」、平たく言うと、人工

石器といふわけです。

第二次石器時代の石器が、天

然の石を素材にしていたのに對

して、現代の人工石器が粉を固

めて焼くので「さひない」「燃

えない」「硬い」「形を自由に

作れる」という四つの特質を持

っています。従って、石器時代

の後になくて、金屬でない無機質固

体材料」、平たく言うと、人工

石器といふわけです。

第二次石器時代の石器が、天

然の石を素材にしていたのに對

して、現代の人工石器が粉を固

めて焼くので「さひない」「燃

えない」「硬い」「形を自由に

作れる」という四つの特質を持

っています。従って、石器時代

の後になくて、金屬でない無機質固

体材料」、平たく言うと、人工

石器といふわけです。

第二次石器時代の石器が、天

然の石を素材にしていたのに對

して、現代の人工石器が粉を固

めて焼くので「さひない」「燃

えない」「硬い」「形を自由に

作れる」という四つの特質を持

っています。従って、石器時代

の後になくて、金屬でない無機質固

体材料」、平たく言うと、人工

石器といふわけです。

第二次石器時代の石器が、天

然の石を素材にしていたのに對

して、現代の人工石器が粉を固

めて焼くので「さひない」「燃

えない」「硬い」「形を自由に

作れる」という四つの特質を持

っています。従って、石器時代

の後になくて、金屬でない無機質固

体材料」、平たく言うと、人工

石器といふわけです。

第二次石器時代の石器が、天

然の石を素材にしていたのに對

して、現代の人工石器が粉を固

めて焼くので「さひない」「燃

えない」「硬い」「形を自由に

作れる」という四つの特質を持

っています。従って、石器時代

の後になくて、金屬でない無機質固

体材料」、平たく言うと、人工

石器といふわけです。

第二次石器時代の石器が、天

然の石を素材にしていたのに對

して、現代の人工石器が粉を固

めて焼くので「さひない」「燃

えない」「硬い」「形を自由に

作れる」という四つの特質を持

っています。従って、石器時代

の後になくて、金屬でない無機質固

体材料」、平たく言うと、人工

石器といふわけです。

第二次石器時代の石器が、天

然の石を素材にしていたのに對

して、現代の人工石器が粉を固

めて焼くので「さひない」「燃

えない」「硬い」「形を自由に

作れる」という四つの特質を持

っています。従って、石器時代

の後になくて、金屬でない無機質固

体材料」、平たく言うと、人工

</

今月の吉縁

日航機事故 機動隊が出動

黙々と捜索・遺体搬出に従事
汗とほこりと異臭にまみれて



五百人を超える死者を出した日航機墜落事故は、わが国の航空機事故史上最大の惨事となる。巡航局関係者だけではなく、運航当局者たる機動隊員を含めて重大な責任が負わされているが、機動隊員を軸とする捜索活動や遺体搬出での苦労は言い尽くせない。えぐられた地肌、なぎ倒されくすぐる原生林の異臭が燃えるにおいとともに焼けたゞる鼻孔とほこりにまみれて黙々と活動する隊員達の姿を写真でご紹介した。

は
げ
ま
し

発行所

社団法人 機動隊員等を勧ます会
東京都中央区八重洲2-4-14
〒104 ミツヤビル3階
発行人 鈴木 實
TEL 03(272)2050
購読料 年間1200円(送料共)
(但し、会員の中には購読料を含む)

支えよう憩の場を

ここには人間教育がある。知・徳・体を備えた強靭な隊員の場とされており、機動隊経験者は口をそろえて警察官となつたからには、一度は在燃えたたせて仁王様とも見まどうばかりの偉丈夫に見える。だがその偉丈夫の家族の方々は、卑劣な犯罪に、暴力に、そして平和

私の住まいの、千葉県船橋市は西に山口組、一和会の暴力争斗拠点が田舎であり、東に工場主反対斗争の成る空港ありと云う場所がらで争う。田空飛安に、全国の機動隊員のみなさんが日夜治安に、奮闘にあたっておられるなかで、特にこの両地区を担当される方々の日頃の苦労もさぞやと思われる。仕事の関係で国会議事堂周辺をよく通るが、雨など降った日に厳然として一点を見ると、見ながら配置についている姿を見ると、思わず心の中で「どう苦労さま」と声をかけてしまう。機動隊は若さの集団であるが、そ

経験すべきだ」と云う。

しかし、常に不法者たちに立ち向
うため、自らの肉体を楯としての苦
酷な訓練は、見えぬ敵に対する斗争

を守る正義の挑戦者としてこの職場を選んだこそ子息に畏敬の気持ちと、無事で健康を祈る親心が入り混つておられるのではないかろうか。

「遠い親戚より近くの他人」の謹
のように、私たちも遠く故郷を離れて
いる機動隊の隊員たちに、これから
らの人生のよき伴侶を紹介し、健全な
家庭を築きあげられるよう、またま
心の安まる憩の場がもてるよう、会
員の輪を大きく広げ、物心両面から
ささやかながら力強い支援を送り付
けたいと思う。



上：斜めロープ担架救出訓練 下：被災車両からの救出訓練

防災
訓練

引続志治安に万全

「防災の日」の九月一日、首都圏と東海地方の十都県で大地震を想定した総合防災訓練が行われた。警察庁、警視庁も国・地方公共団体その他関係機関と緊密な連携をとり、日頃から鍛錬された訓練成果を発揮したが、なかでも習熟した機動隊員の機動力に、地域住民は改めて全般的な信頼を寄せるところであつた。

訓練には千三百万人が参加した。午前七時十分、駿河湾沖で地震の観測データに異常を発見、九時十分に「警戒宣言」が発令され、翌日の午前十時に地震が発生したという想定で進められた。

東海地震の防災対策強化地域に指定されている神奈川、静岡、

相模トラフでマグニチュード8の地震が起きたという想定で、合同総合防災訓練を行った。警視庁は機動隊員を含めた警察官約二万八千九百人が参加、とくに今年は市街地での総合訓練に重点が置かれた。松坂町東京上野店屋上からヘリコプタートリニティー隊員の連携による負傷者の救出活動、上野周辺住民の避難誘導及び中央通りの道路啓開現示、その他緊急輸送道路確保訓練を実施したが、機動隊員の鍛えた腕と技がフルに発揮された。

迅速・的確な対応

A black and white portrait photograph of Tadashi Miyamoto, the 11th Director of the National Police Agency. He is a middle-aged man with dark hair, wearing a dark suit jacket, a white shirt, and a striped tie. The photo is set against a plain, light-colored background.

山田英雄氏が八月二十七日付で就任した。鈴木良雄氏の勇退に伴う昇格で、全国警察職員二十万人の頂点にいたい類は同官始まつて以来初の昭和生まれである。威風堂々とした体格、五十三歳といふ若さを誇る「花のニッパチ組」（二十八年次長）である。

引続き治安に万全

入庁」のエース登場で、内外の期待が集まるが、「コトの成否は、事前のち密な計画と十分な



は ま げ は

その日までに小は子供一人くらいのものから、大は全長三十メートルの巨大なものまでいろいろな船が出来上がり、数時間しかない命を灯すことになる。

太陽が沈み始める頃、静寂を保つてした街が喧騒と異様な雰囲気で包まれる。その中を美しい着飾った約三千の精靈船が練り出される。

器をとると「ご主人はお帰りですか、帰られましたら直ぐ隣の方へ出動されるようお伝え下さい」と隊からの連絡。当時は非番日などあって無いことの多かったことを今も思い出します。長女が小学生の頃、病弱で入院通院を繰り返していたとき、こんなときでも助け舟など頼むことができず、わざわざ主人へ連絡して貰う羽目になってしまった。子供達がお父さんの仕事に興味を持つのはどの家庭でも同じことだと思います。でも家では仕事の話は全くしてくれません。昨年、十一年ぶりに主人が再び機動隊に転勤したことを主人の同僚Eさんの奥さんに聞いて知りましたが、そのとき主人が二言だけ言いましたが、それは機動隊は平和やなあーと語っていました。これが私の印象でした。

私は機動隊員の妻となつた時から、この人は家の居る人ではない、家庭は私の職場と決心していますので、主人にはもっともつと好き勝手なことをしてほしいと思っています。

車両係 家族

西 敦子

私の父は早起きです。そして朝早く出勤します。それは必ず一人ひとりで「行つてくるよ」とか「先に行くよ」といつた声をかけて出かけます。眠つても、起こして言うので少し困つたりすることもあります。

でも父はとにかく優しい人です。誰かに文句を言つたり、どうなりつけたりなどは勿論したことがありません。ですから親戚の人、友人の子供やお婆さんにとても人気があります。

父はよくうたを歌をします。でも本当に眼りこんでいるときもあれば、寝ているようなふりをしてじっくりと考え事をしている時も多いです。そんな父がとても好きです。

でも、父にはこういった所もあるのです。私は大の巨人ファンで父もそのはすなんですが、まことに応援をしたことがあります。私は誠実で素直なファンですから、ホームランが出来ば大声をあげて喜び、たとえ負けたとしても決してけなしたりしません。それなのに父は「弱い巨人」とか「情けない巨人」とか言つてけなしたり、私の大好きな原選手にも文句ばかりつけます。「今日から阪神『ヤン』とか『衣笠はえらい』などと言つて他球団の応援までしたりします。勿論これは本音ではありませんが……。

とにかくこんなことからもわかるように、父は負けず嫌いなのです。この間も体力テストの成績をみんなに見せひらくため、「すごいやろ」と言つてみたり、四キロも五キロも走つて「まだ走れるぞ」と張りきつてみたりします。

でもさうかと思うと、剣道で打たれてきたりして「やっぱりもう歳やあかんわ」なんて言つて落ち込んだりもします。私と

しては運動もいりけれど、程度を考えて無理をしきれないようにしてほしです。

最近の父は、ショーケ飛ばすようになりました。もともと私の家族は、ショーケやしようとしないことはかりに言っていたのですが、父はそうでもなかつたのです。だから、普通だったら受けないショーケでも父が言えば受けなれます。そんな父がどうですか。父はもうなかつたのです。でも少しうとりができたからではあります。

ところで私にとっての父なんですが、自分で言うのもおかしいけれどとても甘いのです。どんな時でもいつも味方になってくれるし、めったに怒ったりません。それにいたいに私の言う通りしてくれます。多分これは私が兄一人の後に生まれた女の子だつたということ、顔が父によく似ているからではないかと思います。

優しい父は大好きだけれども、優しすぎる父はたまには困つたりもします。昔は、たくさんしく大きくなつた父も、兄達がすぐ大きかつた父も、兄達が小さくみえるようになります。でもやっぱり父は父で、兄達は兄達にも無理をしないで、足元にも及びません。父は持っている見えない力を、その時に、上手に使って家族をまとめてくれます。

これからも無理をしないで、私達がしっかり支えていつてほしいのです。だって私はまだまだ父の支えなしでは生きていけませんから。

見てくまますので、点数をつけるとすれば、百点満点にこなしていいぐらいなのでしょうが、私は五十点しかつけません。マイナス分は、学生時代アメリカンフットボールをしていましたが、今は後輩の指導にあたつていて、非番と曜日日の休みはほとんど家におりません。とても子供でなく、テレビゲームのお守りをしていて、まるで子供が二人いるような気分です。そして、その自分が好きなことをしておいて「疲れた」と言っています。こんな家のお父さんはいますが、一歩家を出ればまた立派にお仕事をしてくれます。そして、その自分が好きなことをしておいて、健康に大事に思っているのです。健けいやくをかけずただ家を守るだけだと思います。これからも、皆様にご迷惑をお掛けすることもあるかと思いつますが、どうぞよろしくお願ひします。

朝五時半、ハッと目が覚める習慣的に日光覚めのところ頃である。今日はお父さんのいらない日だったのに……。早く起きて損した様な気分になりながら、一人息子の寝ている間にと思つて洗濯をやり始めるのが私の日課です。

「警察官」と聞いただけで、お見合いの話しを断つた友人アッ、今日はお父さんのいらない日だったのに……。早く起きて損した様な気分になりながら、一人息子の寝ている間にと思つて洗濯をやり始めるのが私の日課でした。私の実家の母はお父さんの休みの日をカレンダーレイするしをしています。男、伯泰の出産時もちょうど当務の日でした。私の実家の母は近畿管区警察学校に入校しまし

た。その間、お父さんも大変な事です。どうせお父さんのことだから三日坊主では?と内心私は思つていたのですが、案に反が、入校以来ぶつつり喫煙した

新入隊員ですよろしく



私は、四月一日付で機動隊員として勤務を命ぜられ、早くも一ヶ月が過ぎました。機動隊での勤務は予想していたよりはるかに厳しくもので、今までの勤務と一変感しました。戸惑うこともありました。好きで始めた柔道が、今では仕事の一つとなっているのです。

今私は、何事につけても未熟であるため、今まで以上に自分自身を鍛えなければならぬと思っています。そのためには、まず第一に、「体力の向上」です。入隊後のトレーニングはつして行くことより、こなすことが精一杯でした。自分の体力の低下がはつきりした以上、自らトレーニングにより体力の向

上に自指し、自分で満足に終らせる
となく励まなければなりません。
第二は、「技術の向上」です。
入隊間もないとはいひえ欠点ばかりが目立ち、先輩方に全て生半端な立ちません。先輩方の良い所を吸収し、欠点を無くして、自分の持ち味を生かすように、技術向上に努めなければなりません。
第三は、「充実した生活」です。
地方での生活に慣れ、有意義な毎日を心掛けなければなりません。健康管理を怠ることなく、そして集団生活での人間形成を努めたいと思います。
以上のことを忘れず、早く生體方に追いつき、更に選手を目指していくかなければならぬし、

思ひます。そして、して、機動隊員として、
しての誇りと使命感を持ち、
警備実施の中核部隊員として、
これからの方々を頑張ってい
なければならぬと思つていい
す。

通知を受けたとき、正面に異動命令がなされたことを目撃したり、刑事にならざることを心配した。しかし、少なからず戸惑いを感じた。冷静になり考えてみると、動隊というその特殊性を思はうとしたのである。署の先輩古川が、私にとっては、先行きが大変不安に感じられた。しかし、決してしたことである。署の先輩古川は、友人に励まされるなどしてしれない。やれるだけやつれやれ！といふ気持ちになり、不安感を打ち消し入隊した。現在、入隊して間もないが、私は警備実施術科、レーニング等で、先駆隊員大では、動作が遅れ先駆隊員にては、

（）一線とトシ てやや足りないと思 どの社

